

平成25年6月10日
海事局船舶産業課
総合政策局海外プロジェクト推進課

オスロ海事サミットの開催結果について

(ノル SHIPPING 2013 関連イベント)

6月3日(月)から7日(金)にかけて、ノルウェー・オスロ近郊のリレストレムにおいて、海事展「ノル SHIPPING 2013」が開催されました。「ノル SHIPPING」は、各国の造船・船用工業事業者が出展する世界有数の海事展として、2年に一回開催され、本年で第24回を数えます。

これに合わせて、6月5日(水)に、世界の主要海運国の閣僚級及び海運関係団体などによる、「オスロ海事サミット」(主催：ノルウェー政府、共催：国際海運会議所、ノルウェー船主協会)が開催され、我が国からは、石津国土交通審議官が出席しました。以下に、概要をお知らせいたします。



オスロ海事サミット

開催地：ノルウェー・オスロ

開催日：平成25年6月5日(水)

主催：ノルウェー政府貿易産業省(共催：国際海運会議所、ノルウェー船主協会)

出席者：石津 緒 国土交通審議官 他

参加国：ギリシャ、日本、ノルウェー、ロシア、シンガポール、米国、欧州連合(EU)、国際海運会議所(ICCS)、国際海事機関(IMO)

※上記の他、アジア、欧州等の18か国・地域から海運関係団体が出席。

会合では、「持続可能な海事産業」及び「北極海航路の活用」をテーマに、各参加国、国際機関、海運関係団体が活発な議論を交わしました。

我が国からは、石津国土交通審議官が、海運・造船市場における深刻な需給ギャップの存在を指摘し、「持続可能な海事産業」の実現のためにはイノベーションを通じた次の世代のための需要を生み出すことが重要であり、IMOやOECDを通じた、グリーンな成長を可能とするための新たな制度を導入することが、政府に求められている役割である旨を強調しました。

また、「北極海航路の活用」にあたっては、コスト面・技術面での課題に加えて、航行に際しての手続きや救難救助体制等の安全対策にも課題がある旨指摘し、北極海航路を活用した商業運航の本格化のためには、これら課題に取り組むべく、関係国や船主の間で情報交換・意見交換を密接に行うことが重要であると呼びかけました。



【問い合わせ先】

海事局船舶産業課国際業務室

中川直人（内線 43-653）

岩城耕平（内線 43-634）

代表番号 03-5253-8111

直通番号 03-5253-8634

FAX 番号 03-5253-1644

総合政策局海外プロジェクト推進課

渡部徹（内線 25-913）

代表番号 03-5253-8111

直通番号 03-5253-8315

FAX 番号 03-5253-1562